

言語資源ワークショップ 2026 プログラム

- 参加に際しては、参加登録が必要です（参加費無料）。
- 発表番号の末尾に「s」のついている発表は「言語資源ワークショップ：優秀発表賞」の対象となっています。
- 口頭発表の時間は1件あたり30分（発表20分＋質疑応答10分）です。
- インタラクティブセッションはセッション冒頭の発表紹介が1分、ブレイクアウトルームに分かれた後の持ち時間は1件あたり20分（＋交代等5分）です。

2026年8月20日（木）

【1日目 オープニング】 9:50–10:00

【口頭発表セッション A】

10:00–10:30 A1s

マンガ会話コーパス構築における生成 AI 活用の可能性

王芳・金丸敏幸

10:30–11:00 A2

（仮）日本語学習者縦断作文コーパス W-CoLeJa を用いた発達過程分析 —助詞使用の多様性と複雑性を事例として—

井原彩樺

11:00–11:30 A3s

（仮）書籍における他動詞文の無生主語率について —ジャンルの違いを考慮して—

岑慧穎

11:30–12:00 A4s

Corpus-based Analysis of Education Policy Discourse in Municipal Boards of Education in Kanagawa Prefecture

Mario DePavia

【昼休憩】 12:00–13:00

【招待講演 1】

13:00–14:00

超低資源言語ドキュメンテーションと品詞情報——南琉球宮古語伊良部島方言のニューラルネットワーク(BiLSTM-CRF)による
注釈自動化の取り組みから

下地理則（九州大学）

【休憩】 14:00–14:10

【インタラクティブセッション U・V（並行）】

14:10–14:25 本セッション発表者による 1 分間の発表紹介（セッション冒頭の発表紹介 1 分×発表者 9 人）

セッション U

14:25–14:50 U1s

OpenCHJ を活用した明治・大正期国定理科教科書コーパスの公開

呉子凡・金賢眞・小木曾智信

セッション V

14:25–14:50 V1

中国語母語話者向け日本語教材の構築手法に関する実践報告 —教科書・
過去問コーパスと Web 茶まめを活用して—

朱勰

14:50–15:15 U2s

「なんかこう」は一語化しているか — CEJC・CSJにおける分布・共起・韻律の観点から—

呉楚琦 (Wu Chuqi) ・ 李海琪

15:15–15:40 U3s

(仮) 少年漫画オノマトペの言語資源化に向けた基礎研究 —意味アノテーションモデルの構築と適用—

Nguyễn Thị Dung

14:50–15:15 V2

(仮) 日常会話における副詞「ちゃんと」の使われ方—親子会話と成人会話の予備的考察—

江口典子

15:15–15:40 V3

(仮) 『日本語ゲームコーパス』前期データの概要と出現語彙リストの試行公開

麻子軒

【休憩】 15:40–15:50

【口頭発表セッション B】

15:50–16:20 B1s

談話行為がアノテーションされた人間-AI 対話コーパスの構築

永井宥之・伊藤和浩・白石暖哉・山崎由佳・若宮翔子・荒牧英治

16:20–16:50 B2

小型国語辞典と現代語コーパスは互いの語彙をどの程度カバーするか

小木曾智信・荻野真友子・坂倉基・岡田純子・原科有里

【投票案内・1日目 終了挨拶】 16:50–17:00

2026 年 8 月 21 日（金）

【2 日目 オープニング】 9:50–10:00

【口頭発表セッション C】

10:00–10:30 C1

（仮）データのジャンルを考慮した言葉づかいの分析—少女マンガと少年マンガを比べてみた—
西澤萌希

10:30–11:00 C2

（仮）The KISTEC Search Interface の概要：The KIT Speaking Test Corpus の普及に向けて
田中悠介・瀬戸口彩花・近大志・神澤克徳

11:00–11:30 C3

BCCWJ および CEJC を用いた終助詞「ね」「よ」の全体頻度と機能別頻度の調査：日本語教育への応用
原 里咲子

11:30–12:00 C4

BCCWJ と CEJC を用いた「は」と「が」の出現状況調査:外国人学習者のための日本語指導の指針を求めて
李 宏宇

【昼休憩】 12:00–13:00

【招待講演 2】

13:00–14:00

LINE ヤフーにおける言語処理の研究開発

颯々野学（LINE ヤフー株式会社）

【休憩】 14:00–14:10

【インタラクティブセッション X・Y・Z（並行）】

14:10–14:25 本セッション発表者による 1 分間の発表紹介（セッション冒頭の発表紹介 1 分×発表者 12 人）

セッションセッション X	セッションセッション Y	セッションセッション Z
14:25–14:50 X1 小中高校教科書に収録される語彙の変化 呂建輝	14:25–14:50 Y1 （仮）「おいしい」と評価された文章群の特徴 および評価の要因 設樂馨・加藤祥	14:25–14:50 Z1 日本語句末音調における上昇下降調と上昇調の ピッチ曲線の比較 李海琪
14:50–15:15 X2 共通漢字を持つ単漢字和語動詞と漢語サ変動詞 の語彙リスト作成に向けて 劉 雨涵	14:50–15:15 Y2 「いけいけ」「どんどん」「おせおせ」はどう 書かれるか 柏野和佳子	14:50–15:15 Z2 日本語五十音図と訓民正音の 生成的音韻資源モ デル Generative Phonological Resource Model for Japanese Kana and Hunminjeongeum Kim, Heon-Seong

15:15–15:40 X3

『浮世床』の翻刻とコーパス化に向けたアノテーション

高橋雄太

15:15–15:40 Y3

（仮）愛知・岐阜における間接疑問文の埋め込み節標識のバリエーションー日本語諸方言コーパスに基づいた調査報告ー

佐藤久美子

15:15–15:40 Z3

音響指標データベースの構築と公開：南バントゥ諸語の摩擦音の事例 (Building and publishing a database of acoustic measurements: a case of fricatives in Southern Bantu languages)

李勝勲・鈴木成典・坂本誓

【休憩】 15:40–15:50

【口頭発表セッション D】

15:50–16:20 D1

日本語時制・アスペクト表現に対する学習者コーパスのアノテーション設計—I-JAS と教室データを対象としてー

Vasilev Todor

16:20–16:50 D2

中間言語対照分析における話者背景情報の組み込みーI-JAS for CIA V2.0 の開発ー（仮）

石川慎一郎

16:50–17:20 D3

言語変種を表す複合語「～訛（り）」の諸相ー「NDL Ngram Viewer」と「国立国会図書館デジタルコレクション」を用いた素描ー

岡田 祥平

【クロージング】 17:20–17:30